

四階

煙出し

この階の壁に沿った台は、砲手が腰を掛ける場所として機能した。天井近くの小さな窓は火縄銃から出る煙を排出し、包囲攻撃されている際に視界を確保する役目を果たした。

発射台

壁には長い発射台があり、防御側は高窓から敵を監視および発砲することができた。

隠れ見どころ

天守閣の骨組みの一部には、番付の文字が直接棟木に彫られている。